

## 製造業者等による再商品化等費用の実績と その内訳に関する報告等の結果

- 対象者 全製造業者等
- 報告等内容 平成20年度の再商品化等費用の実績とその内訳
  - ・ 製造業者等の再商品化等費用の内訳
  - ・ 製造業者等の再商品化等費用の品目別収支
- 報告等結果 別紙のとおり

製造業者等の再商品化等費用の内訳について(平成20年度実績)

(収入/費用の単位:百万円(1台当たり費用は円))

製造業者等名 (※1)	リサイクル 料金総収 入	再商品化等費用											費用総計	収支	引取台数 (千台)	(参考)リ サイクル プラントにお ける資源 売却額(試 算) (※5)		
		管理会社委託費等				家電リサイ クル券セン ター費用	製造業者等運営費				費用総計	収支					引取台数 (千台)	(参考)リ サイクル プラントにお ける資源 売却額(試 算) (※5)
		リサイクルプラント費用	指定引取 場所・二次 物流費用	管理会社 運営費	リサイクル システム 企画・運営 関連費用 (※2)		リサイクル 処理技術 開発関連 費用 (※3)	その他 費用 (※4)										
X1	7,436 (3,019)	7,041 (2,859)	4,106 (1,667)	592 (240)	2,055 (834)	880 (357)	241 (98)	625 (254)	312 (127)	238 (97)	75 (30)	7,907 (3,210)	▲ 471 (▲ 191)	2,463	1,851 (751)			
X2	5,445 (3,021)	5,103 (2,831)	—	—	—	—	176 (98)	293 (163)	127 (70)	154 (86)	12 (7)	5,572 (3,091)	▲ 127 (▲ 70)	1,802	1,338 (742)			
X3	5,087 (3,027)	4,467 (2,658)	3,187 (1,896)	442 (263)	1,112 (662)	168 (100)	164 (98)	553 (329)	226 (135)	315 (187)	12 (7)	5,184 (3,085)	▲ 97 (▲ 58)	1,681	1,502 (894)			
X4	4,490 (3,010)	3,922 (2,629)	2,875 (1,927)	370 (248)	898 (602)	149 (100)	146 (98)	554 (372)	259 (174)	287 (192)	9 (6)	4,622 (3,098)	▲ 132 (▲ 89)	1,492	1,283 (860)			
X5	3,930 (3,104)	3,478 (2,747)	2,506 (1,979)	388 (306)	846 (668)	127 (100)	124 (98)	463 (366)	200 (158)	263 (207)	0 (0)	4,065 (3,210)	▲ 135 (▲ 106)	1,266	1,174 (927)			
その他計	11,144 (3,057)	10,119 (3,023)	—	—	—	—	357 (91)	1,212 (233)	550 (160)	644 (0)	18 (0)	11,687 (3,347)	▲ 543 (▲ 289)	3,756	3,458 (921)			

(備考)

※1 製造業者等については、リサイクル料金収入の上位5社(企業グループ単位で回答されたものを含む)を記載。

※2~4 上記「製造業者等運営費」の内訳(※2~※4)については、「産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会電気・電子機器ワーキンググループ 中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会家電リサイクル制度評価検討小委員会 第5回合同会合」(平成18年12月11日)に提出された財団法人家電製品協会の資料に基づき、下記のような業務内容の主要事例を参考として、計上している。

※2 国・自治体・流通との連携および情報交換、業界活動展開、リサイクルプラントへの監査・指導、指定引取場所への監査・指導、コンプライアンス啓発の実施

※3 リサイクル処理技術開発に関する設備開発・実証実験(フロン回収向上技術開発、プラスチック回収・高品位化等、新規商品(ドラム式洗濯機、シクロペンタン冷蔵庫等)のリサイクル処理技術開発

※4 使用済み家電回収促進、適正処理啓発活動の展開

※5 製造業者等へのヒアリングによれば、製造業者等とリサイクルプラント(RP)事業者が再商品化の契約を行う場合、資源売却額も見込んだ委託単価にて交渉を行っているが、製造業者等(委託側)には、契約後も含め、資源売却額は開示されていない。このため、本欄の数字は、RPIにおける資源売却額を国において試算(\*)したものであり、製造業者等の収入を示すものではない。

\* 製造業者等から再商品化を受託したすべてのRPIにおいて得られた、当該製造業者等が過去に製造等した廃家電に係る平成20年度の再資源化重量に、国において以下のとおり設定した資源ごとの売却単価を乗じて試算した。

鉄:20円/kg、銅:400円/kg、アルミニウム:100円/kg(東京都資源回収事業協同組合標準売値の平成20年度平均値より設定)

非鉄・鉄等混合金属:10円/kg(混合金属の処理(分別)費用を考慮し、単体金属の売却単価より安価と設定)

ブラウン管ガラス:1円/kg(各種資料、情報をもとに国において設定)

その他の有価物:4円/kg(リサイクルプラント等のヒアリングより設定)

(参考)製造業者ヒアリング事項

委託単価の決定と資源売却収入について	・年に1回、RP事業者と翌年度の委託単価の交渉を行うにあたり、事前にメーカー側でシミュレーションを行い、想定単価を決定している。想定単価には、RPIにおける資源売却額を含めて算定している。 ・資源売却額のシミュレーションにあたっては、各資源毎の資源相場を調査し、トレンドを見ながら売却単価を予想している。 ・資源相場の変動があっても、契約後1年間、委託単価は変わらない。相場変動による資源売却の損益はプラント側が吸収している。
指定引取場所・二次物流費用の内訳について	・指定引取場所(SY)と二次物流(2L)を両方兼ねて行っている事業者が多く、当該事業者と一括で契約していることが多い。契約は品目毎、1台毎の単価で行っている。 ・SY費用と2L費用の内訳は算定していないが、概ね、SY費用:2L費用の割合が5:5から3:7の範囲と認識している。
フロン回収にかかる費用の内訳について	・冷媒フロンと断熱材フロンの処理費用の切り分けはしていない。 ・回収量から推定すると、冷媒フロン:断熱材フロンの割合は6:4から7:3の範囲である。
再商品化等の委託費用を低減する工夫について	・リサイクル費用のうち、人件費の占める割合が大きく、費用低減には、プラントの作業効率を上げるのが一番である。 ・作業効率向上のため、プラント間で交流会や事例発表会を開催するなどしてノウハウを共有し、各プラントの良いところを水平展開し、全体のレベルを上げている。 ・メーカー・管理会社で技術部会を設置し、処理技術の開発・改善や、各素材の有価物化等の研究を行っている。

## 製造業者等の再商品化等費用の品目別収支について(平成20年度実績)

(単位:百万円、1台当たり費用は円)

製造業者等		エアコン			
		受領した再商品化等料金	再商品化等に要した費用	収支	再商品化率
XA1	1台当たり	849 (2,887)	855 (2,908)	▲ 6 (▲ 21)	84%
XA2	1台当たり	786 (2,891)	806 (2,965)	▲ 20 (▲ 73)	91%
XA3	1台当たり	624 (2,892)	633 (2,937)	▲ 10 (▲ 45)	91%
XA4	1台当たり	618 (2,893)	646 (3,025)	▲ 28 (▲ 132)	84%
XA5	1台当たり	540 (2,896)	541 (2,901)	▲ 1 (▲ 5)	91%
その他計	1台当たり	2,180 (2,894)	2,371 (3,148)	▲ 191 (▲ 254)	89%

(備考)その他計の再商品化率は加重平均値

(単位:百万円、1台当たり費用は円)

製造業者等		ブラウン管テレビ			
		受領した再商品化等料金	再商品化等に要した費用	収支	再商品化率
XT1	1台当たり	2,855 (2,616)	2,885 (2,643)	▲ 30 (▲ 27)	90%
XT2	1台当たり	2,741 (2,616)	2,840 (2,710)	▲ 99 (▲ 94)	86%
XT3	1台当たり	1,717 (2,625)	1,754 (2,682)	▲ 37 (▲ 57)	86%
XT4	1台当たり	1,624 (2,600)	1,645 (2,634)	▲ 21 (▲ 34)	90%
XT5	1台当たり	1,134 (2,625)	1,162 (2,690)	▲ 28 (▲ 64)	90%
その他計	1台当たり	3,441 (2,618)	3,651.205 (2,778)	▲ 210 (▲ 160)	89%

(備考)その他計の再商品化率は加重平均値

(単位:百万円、1台当たり費用は円)

製造業者等		冷蔵庫・冷凍庫			
		受領した再商品化等料金	再商品化等に要した費用	収支	再商品化率
XR1	1台当たり	2,466 (4,513)	2,801 (5,127)	▲ 336 (▲ 614)	69%
XR2	1台当たり	1,831 (4,525)	1,859 (4,593)	▲ 28 (▲ 68)	69%
XR3	1台当たり	1,808 (4,533)	1,858 (4,659)	▲ 50 (▲ 126)	77%
XR4	1台当たり	1,587 (4,465)	1,640 (4,615)	▲ 54 (▲ 151)	77%
XR5	1台当たり	1,484 (4,498)	1,549 (4,697)	▲ 66 (▲ 199)	77%
その他計	1台当たり	2,626 (4,603)	2,723 (4,772)	▲ 96 (▲ 169)	77%

(備考)その他計の再商品化率は加重平均値

(単位:百万円、1台当たり費用は円)

製造業者等		洗濯機			
		受領した再商品化等料金	再商品化等に要した費用	収支	再商品化率
XW1	1台当たり	1,522 (2,400)	1,531 (2,414)	▲ 9 (▲ 14)	88%
XW2	1台当たり	1,380 (2,400)	1,411 (2,453)	▲ 31 (▲ 54)	79%
XW3	1台当たり	1,279 (2,400)	1,313 (2,463)	▲ 34 (▲ 63)	79%
XW4	1台当たり	900 (2,400)	936 (2,496)	▲ 36 (▲ 96)	88%
XW5	1台当たり	842 (2,400)	887 (2,527)	▲ 44 (▲ 127)	88%
その他計	1台当たり	698 (2,404)	739 (2,546)	▲ 41 (▲ 142)	88%

(備考)その他計の再商品化率は加重平均値